

手摺金具

UNIVERSAL GRIP	796
WP手摺金具	797~798
アトム手摺金具	799
SUSカバータイプ	799
手摺取付施工例	800



ドア錠

1

丁番

2

開き戸
金物

3

引戸錠
南京錠

4

引戸金物

5

室内用
アルミ建具

6

上吊式
引戸金具

7

折戸金具

8

取手引手

9

スライド丁番

10

スライドレール
ワイヤレール

11

収納吊金具
シェーダー金具

12

その他の
家具金物

13

宅配ボックス
消火器ボックス
手摺金具他

14

諸金具

15

設計
施工
ガイド

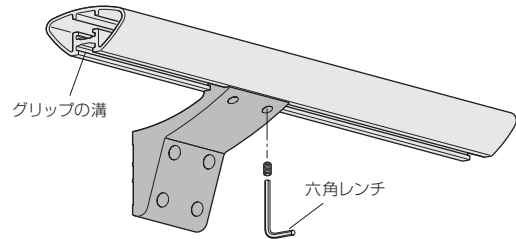
会社案内

施工ガイド

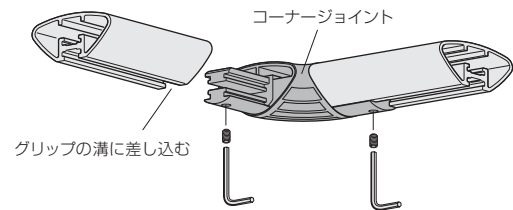
■金具の取付け方法

●グリップにブラケットを取り付ける際は、まずグリップの溝にブラケットをスライドさせながら差し込み、取付位置が決まったら六角レンチを用いて固定させます。

●他の金具も同様に、グリップにしっかりと差し込んだ後に六角レンチで固定します。

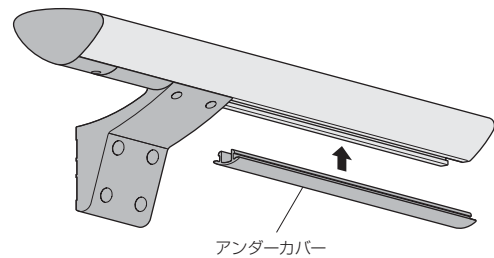


コーナー部分



●グリップの接続は直線ジョイントを用いて接続します。間にシーラーをはさみ込み、直線ジョイントをグリップに差し込み、止めねじで固定します。このとき直線度や隙間のないことを確認してください。

●金具類の組立てが完了したら、グリップ下面の溝をカバーするアンダーカバーを差し込みます。アンダーカバーは、溝の長さに合わせてカッター等で切断し、溝に差し込みます。このとき実際の長さより1～2mm長めに切った方が隙間なく組み付けられます。



ドア錠

1

丁番

2

開き戸
金物

3

引戸錠
南京錠

4

引戸金物

5

室内用
アルミ建具

6

上吊式
引戸金具

7

折戸金具

8

取手引手

9

スライド丁番

10

スライドレール
クレーン取付

11

収納・吊金具
ジョーグース金具

12

その他の
家具金物

13

宅配ボックス
消火器ボックス
手摺金具他

14

諸金具

15

設計
施工
ガイド

会社案内

施工ガイド

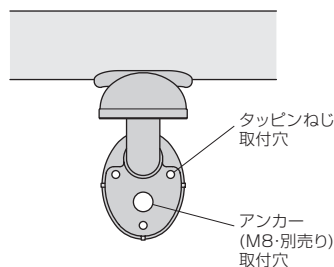
■ブラケットの取付け方法

●ブラケットを壁面へ取り付ける際は、右図のようにカバーを手摺棒の受け座の根元にはめ込み、仮固定した状態にします。これによりカバーが作業の邪魔にならず、スムーズに取り付けが行えます。

※カバーのはめ込みを繰り返し行くと、はめ込みツメの劣化により仮固定しにくくなりますのでご注意ください。

●ブラケットの座面に設けられた取付穴のうち、3ヶ所の小さな穴はタッピンねじ（添付品）用、中心の大きな穴はアンカー（M8・別売り）用としてご使用ください。

※アンカーをご使用になる際は、アンカーの出が右記の寸法になるようご注意ください。ブラケットカバーが入らなくなる恐れがあります。



●WP-L-35Wは手摺棒の端部どうしをつなぐ際にご使用ください。シーラー35と組み合わせることにより、手摺棒の継ぎ目をすっきりとジョイントすることができます。

■WP-EC-35の取付け方法

エンド金具としてご使用になる場合

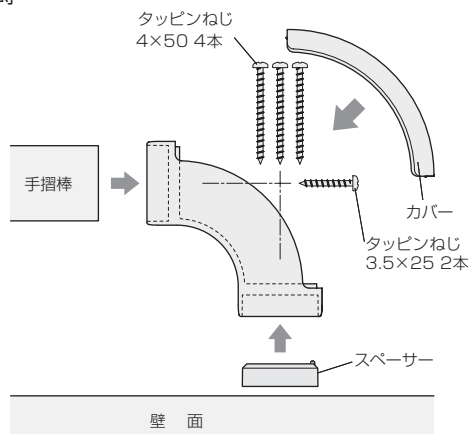
●金具の座面に設けられた取付穴のうち、4ヶ所の小さな穴はタッピンねじ（添付品）用、中心の大きな穴はアンカー（M8・別売り）用としてご使用ください。

●取り付けの際は、壁面用にタッピンねじ4×50を4本、手摺棒用にタッピンねじ3.5×25を2本使用します。残りの2本のねじは不要となります。壁面側には必ず添付のスペーサーを装着してください。

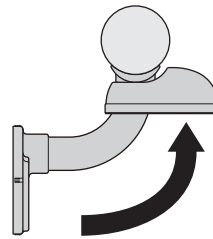
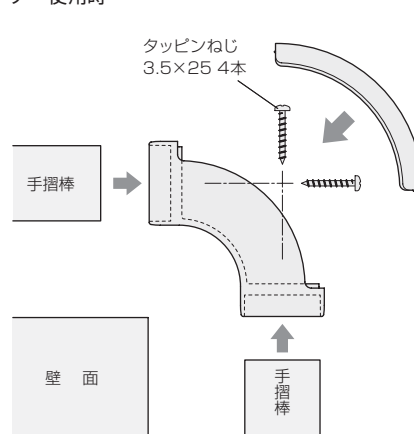
コーナー金具としてご使用になる場合

●取り付けの際は、タッピンねじ3.5×25を4本使用します。タッピンねじ4×50の4本とスペーサーは不要となります。

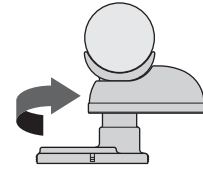
エンド使用時



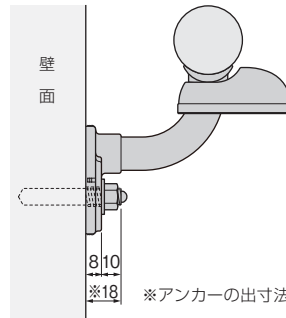
コーナー使用時



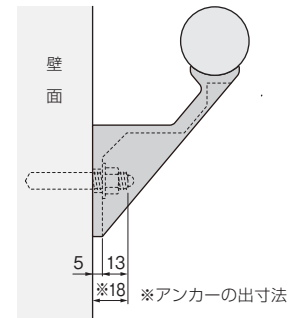
WP-L-35/WP-L-35W



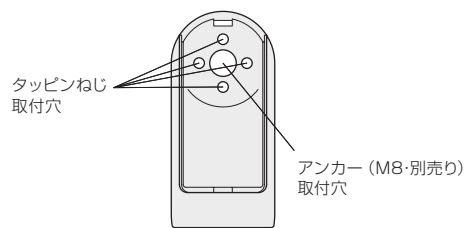
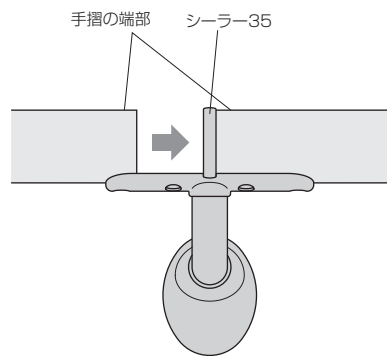
WP-S-35



WP-L-35



WP-LK-35



ドア錠

1

丁番

2

開き戸
金物

3

引戸錠
南京錠

4

引戸金物

5

室内用
アルミ建具

6

上吊式
引戸金具

7

折戸金具

8

取手引手

9

スライド丁番

10

スライドレール
ワイヤーロック

11

取付金具
ジョーグ金具

12

その他の
家具金物

13

宅配ボックス
消火器ボックス
手摺金具他

14

諸金具

15

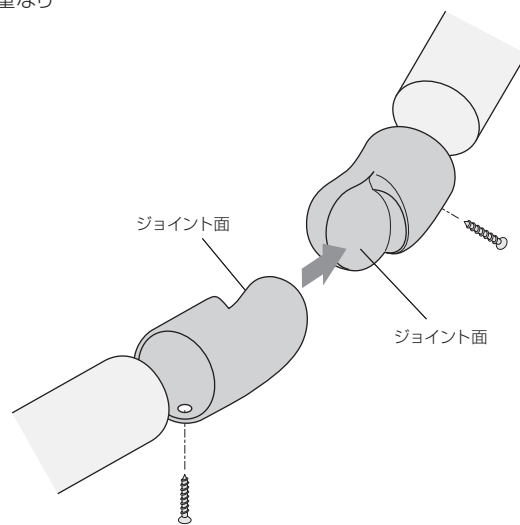
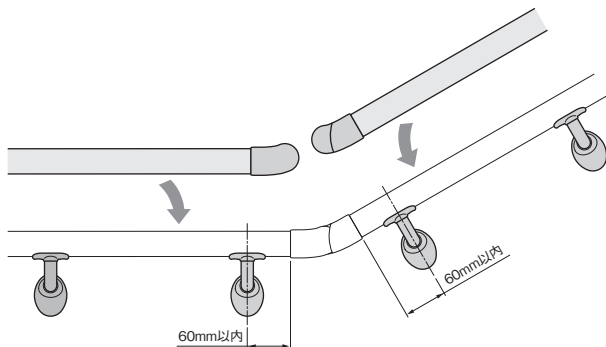
設計
施工
ガイド

会社案内

施工ガイド

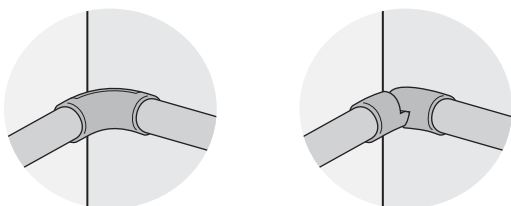
■WP-FJ-35の取付け方法

- WP-FJ-35は金具同士が連結されていないジョイント金具ですので、手摺施工時はまずブラケットを壁面に取り付け、次に手摺棒をブラケットにのせ、ジョイント面を確実に重なり合わせてから固定してください。
- WP-FJ-35から60mm以内に必ずブラケットを取り付けてください。

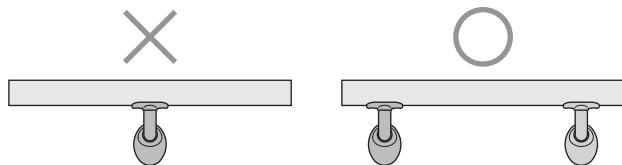


〈ご注意〉

※入隅コーナー部へのご使用時やジョイント金具付近に障害物がある場合などは、必ず先にブラケットを壁面に取り付けてからジョイント金具を取り付けてください。ドライバーが入らなくなり、ねじの取り付けが行えなくなります。

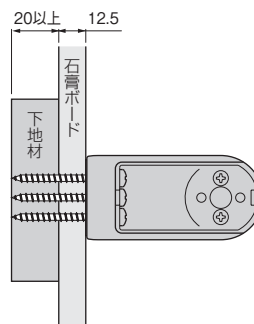


※手摺棒の長さに関わらず、1本の手摺棒に対し必ず2ヶ以上のブラケットで固定するようにしてください。



※手摺棒にねじを取り付ける際には、必ず下穴をあけてから取り付けを行ってください。手摺棒に亀裂が入る原因となります。

※受け金具は必ず、芯材あるいは下地の厚みがある壁に取り付けてください。薄い下地や、ねじの効かない場所に取り付けますと、受け金具が脱落する可能性があります。石膏ボードにご使用の際は、必ず裏に20mm以上の下地材を入れてください。



ドア錠

1

丁番

2

開き戸金物

3

引戸錠
南京錠

4

引戸金物

5

室内用
アルミ建具

6

上吊式
引戸金具

7

折戸金具

8

取手・引手

9

スライド番

10

スライドレール
クレーン取付

11

収納・吊金具
ジョーグス金具

12

その他の
家具金物

13

宅配ボックス
消火器ボックス
手摺金具他

14

諸金具

15

設計
施工
ガイド

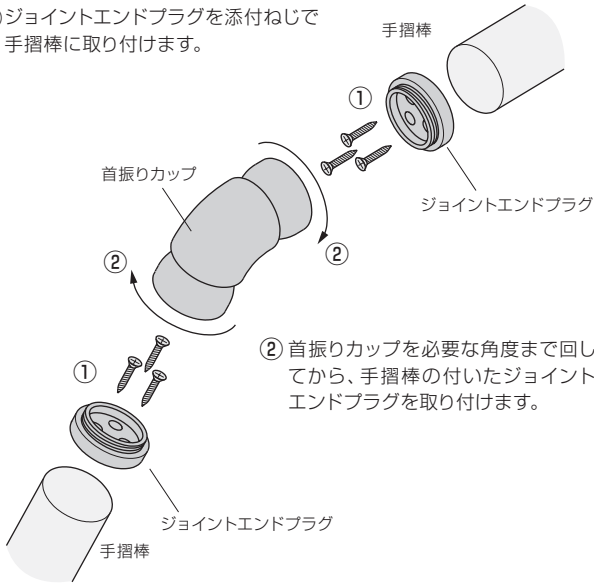
会社案内

施工ガイド

■金具の取付け方法

可変105°・可変150°の取付け

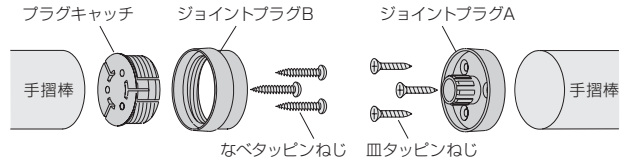
- ① ジョイントエンドプラグを添付ねじで手摺棒に取り付けます。



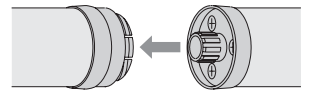
- ② 首振りカップを必要な角度まで回してから、手摺棒の付いたジョイントエンドプラグを取り付けます。

ストレートジョイントの取付け

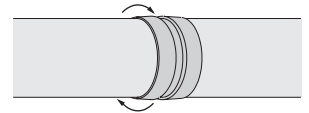
- ① まず、プラグキャッチの奥までジョイントプラグBをねじ込みセットします。その後、添付ねじ（なべタッピンねじ）で手摺棒に取り付けます。ジョイントプラグAを、連結させるもう一方の手摺棒に添付ねじ（皿タッピンねじ）で取付けます。
※添付ねじの種類にご注意ください。



- ② ジョイントプラグAを、プラグキャッチにカチッと音がするまで押し込みます。



- ③ ジョイントプラグBを回して、しっかりと締め付けます。



SUSφ35・φ40 カバータイプ

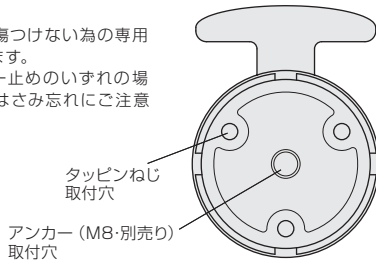
製品紹介 603

施工ガイド

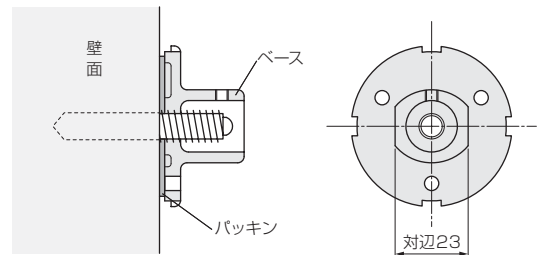
■金具の取付け方法

- ブラケットの座面に設けられた取付穴のうち、3ヶ所の小さな穴はタッピンねじ（添付品）用、中心のM8ねじ穴はアンカー（M8・別売り）用としてご使用ください。

※本製品は、壁面を傷つけない為の専用パッキンを使用します。ねじ止め・アンカー止めのいずれの場合にもパッキンのはさみ忘れにご注意ください。



- アンカー（M8・別売り）を使用する際は、壁面にアンカーを打ち込んだ後にベースをレンチなどで回して締め付けます。



ドア錠
1
丁番
2
開き戸金物
3
引戸錠 南京錠
4
引戸金物
5
室内用 アルミ建具
6
上吊式 引戸金具
7
折戸金具
8
取手引手
9
スライド番
10
スライドレール ワイヤレール付
11
収納用金具 シェーケース金具
12
その他の 家具金物
13
宅配ボックス 消火器ボックス 手摺金具・他
14
諸金具
15
設計 施工 ガイド
会社案内

手摺取付施工例

施工ガイド(例: WP手摺金具)

ドア錠

1

丁番

2

開き戸
金物

3

引戸錠
南京錠

4

引戸金物

5

室内用
アルミ建具

6

上吊式
引戸金具

7

折戸金具

8

取手・引手

9

スライド丁番

10

スライドレール
クレーン取付

11

収納・吊金具
ジョーグス金具

12

その他の
家具金物

13

宅配ボックス
消火器ボックス
手摺金具他

14

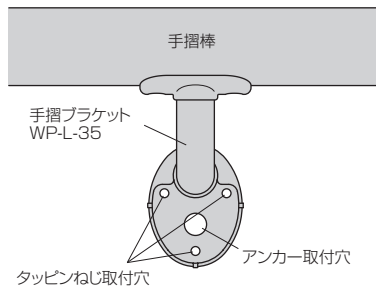
諸金具

15

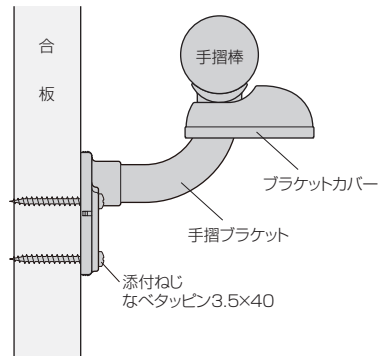
設計
施工
ガイド

会社案内

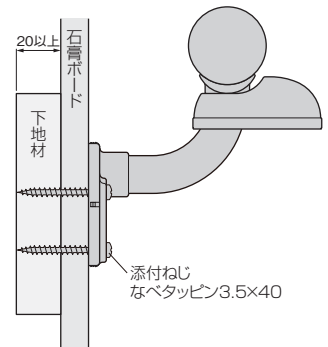
金具の取付穴



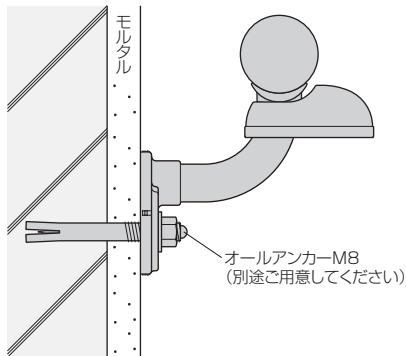
■木下地



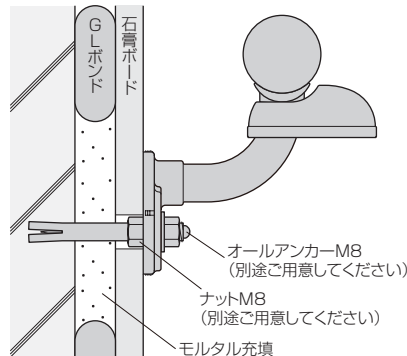
■石膏ボード壁



■コンクリート下地



■GL工法



■石膏ボード壁 (リフォームの場合)

